

台場シャトルバス「お台場レインボーバス」の運行状況について

お台場レインボーバスは、平成24年度から台場シャトルバス運営協議会が、5年目までに収支率100%にすることを条件に運行を開始しましたが、条件を達成できなかったため、当運営協議会は平成28年度末で事業から撤退し、解散しました。

平成29年度からは、令和3年度までの5年間の黒字化を目指し、自主運行が可能になるまでの間、区が1億円を上限に運行経費を補助するスキームで運行してきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」といいます。）の感染拡大の影響で、利用者が大幅に減少し、期限までに黒字化が達成できなかったため、目標期限を令和6年度まで延長し、運行事業を継続しています。

1 運行状況

(1) 利用者数

令和3年度の利用者数は567,616, 616人で、利用者数が若干回復し、令和2年度と比較して、86,678人増加しました。

(単位：人)

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用者数	567,616 (86,678)	480,938 (▲327,786)	808,724 -

※ () 内は前年度からの増減数

(2) 収支率

令和3年度の収支率は67.8%で、令和2年度から6.5ポイント増加しました。収入は令和2年度と比較して、約1,600万円増加しましたが、令和元年度と比較すると約4,600万円減少している状況です。支出は、燃料費の高騰や車両経年劣化に伴う修繕費の増加等により、令和2年度と比較して、791万円増加しています。

(単位：千円)

年度	収入			支出	収支	補助金	収支率※
	運賃収入	広告収入等	計				
令和元年度	152,058	9,933	161,991	182,092	▲20,101	20,101	89.0%
令和2年度	91,317	8,604	99,921	162,987	▲63,066	63,066	61.3%
令和3年度	108,862	7,002	115,864	170,897	▲55,033	55,033	67.8%

※ 収支率 (%) : 収入 ÷ 支出

(3) 運行経費補助金

平成29年度から5年間で1億円を上限に区が補助するスキームで運行してきましたが、令和元年度末からは感染症の感染拡大による影響分として、補助上限額とは別に交付しており、令和3年度は55,033,000円を交付しました。

なお、令和4年度からは、令和6年度までの3年間で5,000万円を上限として運行経費を補助するスキームで運行し、黒字化達成を目指しています。

(単位：千円)

年 度	運行経費 補助金額	1億円上限枠内	
		1億円上限枠内	コロナ影響分
平成29年度	44,501	44,501	
平成30年度	24,179	24,179	
令和元年度	20,101	13,329	6,772
令和2年度	63,066	0	63,066
令和3年度	55,033	0	55,033
合計	206,880	82,009	124,871
残額		17,991	

※ 当年度の予算不足分を翌年度予算で追加交付しています。

2 令和3年度の実績

令和2年度に引き続き、感染症の感染拡大の状況下においても、安心してお台場レインボーバスを利用できるよう車内の換気や消毒・抗菌等の徹底に努めました。

また、令和3年9月からJR東日本のキャッシュレス決済アプリ「Ringo Pass」を利用した支払方法の実証実験を行っています。そのほかに、地域情報誌ベイアップへの特集記事掲載（令和3年12月）、JR品川駅自由通路のデジタルサイネージでの周知（令和4年1月～）や、ホテルと連携した乗車券付き宿泊プランの販売（令和3年7月～）等の認知度向上や利用促進に向けた取組を推進しました。

3 令和4年度の実績

運行10周年を記念し、記念ロゴの作成、記念セレモニーの開催、地域や区主催イベントへの出展、区有施設での展示等の認知度向上策に取り組みました。

また、利用促進策として、「Ringo Pass」アプリを活用し、モバイルSuicaとの連携や、商業施設及び区内ホテルとのキャンペーン企画の検討を進めています。そのほか、利用実態調査や利用者アンケートを行い、現在の運行がライフスタイルや需要の変化に対応しているかを検証し、運行改善に取り組んでいます。

今後も運行事業者とともに、台場地区住民、企業と連携した認知度向上策や利用促進策に取り組み、自主運行化に向け、収支率の改善を図ります。